

横浜F・マリノス賞

小机小学校 5年 新名涼乃

『オリンピック弁当』

(オリンピック関係者の人たちへ)

新型コロナウイルスが流行し、暗いニュースが多い中、日本のおいしい黒毛和牛を食べてもらいたいと思い感謝をこめて作りました。誰かのために作るとすごくうれしいなと思いました。コンクールは緊張したけれど、他の人のお弁当や説明などを聞いて楽しかったです。



五輪関係者に食べてもらいたいお弁当でした。マークの下がどのようになっているかもワクワク感がありました。海外の選手がこのお弁当の中身(黒毛和牛)を食べたら、もっと日本が好きになったと思います。日本には、美味しい食材がたくさんあることをアピールしていきます。 (望月 選)

崎陽軒賞

吉原小学校 5年 南 漣音

『初めてのお弁当』 (妹へ)

ぼくはよく妹とけんかをするので、お弁当を作り仲を深めたいと思いました。僕の好きなものと妹の好きなものを工夫して入れました。いつもごはんを作ってくれるお母さんの気持ちがわかりました。たまにはお弁当を作って、いい兄になりたいです。



「お弁当で仲良くなるために」の発想は素晴らしい！お母様に教わりながら、妹のことを思って、お弁当を作ったことを聞いて、心が満たされるのを感じました。おかずのメニューも多くおいしそうに盛り付けもできて、初めてにしてはとても頑張りましたね！ (君塚義郎)

池商賞

上飯田中学校 3年 飯田ともの

『愛情いっぱい弁当』 (母へ)

いつも仕事をがんばっているお母さんに作りました。お母さんは貧血なので、鉄分が多く含まれているほうれん草・ひじき・卵・昆布を使いました。千人以上の中から選ばれ、この場に連れて来てとてもうれしい。料理は好きなのでこれからも続けたいです。



「愛情いっぱい弁当」のネーム通り、愛情を十二分に感じられるお弁当でした。ひじきハンバーグの食感を考えた工夫、卵焼きにマヨネーズを加えて食べやすくした工夫。工夫は最大の愛情表現だと思います。これからもいっぱい作ってください。 (松原文博)

よこはまユース賞

上の宮中学校 2年 井用静句

『お仕事お疲れ様免疫力アップ弁当』

(お母さんへ)

仕事をして疲れているお母さんに、れんこんやニンニク、ブロッコリーなどの食材を使い、免疫力を高める弁当を作りました。人前で話すことが苦手でもとても緊張したけれど、役員の方が優しく声をかけてくれたので落ち着いて発表できました。



お仕事を頑張るお母さんへの想いのこもった素敵なお弁当ですね。見た目も美しく一目見て食べたいと思いました。栄養バランスについてもとても良く考えられていました。 (巻口 徹)

横浜すばいす賞

豊岡小学校 2年 田村康太

『ぼくがそだてたピーマン弁当』 (祖母へ)

ぼくがそだてたピーマンをつかって、おべんとうをつくりました。おいしくみえるように、いろんな色のしょくざいをつかってみました。おべんとうを作るのはちょっとむずかしかったです。コンクールはドキドキしました。



学童のお迎えや食事を作っておばあ様に食べてほしくて、生活科での水やりに気をつけて大切に育てた「ぼくがそだてたピーマン」を使って作ったお弁当。思いがいっぱいつまっていたね。(池田ふみ子・大原敦子・味水陽子)

教育委員会賞(小学校の部)

市場小学校 4年 土井彩葉

『バターロールサンド弁当』 (妹へ)

妹のあまり好きではないお野菜を好きなチーズで和えて、食べやすいように工夫しました。半年に1回くらいしか料理をしたことがなかったから作るのは難しかったです。来年も弁当コンクールを選ぶくらい楽しい時間でした。



妹を大好きな気持ちがぎゅゅとつまったバターロールサンド弁当でした。苦手な野菜もチーズと組み合わせることで、おいしく食べることができますね。これからもいろいろな料理にチャレンジし、妹と彩葉さんがもっともっと仲よくなることを願っています。(木村直弘・大平はな)